

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市小鶴老人福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人杜の村
3	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成29年度 17,036人（前年度比 90.4%）          平成28年度 18,849人（前年度比 101.9%）          平成27年度 18,487人（前年度比 105.1%）</p> <p>《事業》はつらつ講座（10回）、野外活動（2回）、映画上映会（12回）、ウォーキング（1回）、タブレット講座（3回）、美化活動（2回）、文化祭（1回）、手作り味噌（2回）、漬物講座（1回）、マッサージ教室（24回）、サークル活動（9教室）</p>
5	収支の状況	<p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用                   23,845千円   (23,720千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用                   1,103千円   ( 0千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入                                   千円   ( 千円)</li> <li>・ その他収入                                  千円   ( 千円)</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>意見箱を設置し、利用者が随時意見を出せる体制を整えている。また、講師懇談会（年1回）、代表者会議（年2回）において利用者の意見・要望の取りまとめをしているほか、各事業実施の都度意見聴取をしている。このほか、市が実施するアンケートも活用している。</p>

### 二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	S
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに職員への周知等、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、連絡体制や職員の役割分担を予め決めていくなど、対応体制を構築している。	S
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている	S
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。 また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。	S
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行っており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を立ち上げ、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりに努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人杜の村）による自己評価》	
<p>平成29年度は「気軽に立ち寄り、相談のできる場所」を目指し運営してきたが、利用者の実績を上げることには苦慮した年であった。他のセンターと異なる小鶴老人福祉センターの特徴として、入浴の設備が無い為かサークル活動での施設利用者が多いが、メインとなっている趣味の教室や愛好会等のサークル活動については、前年度と比較して半数以上のサークル、特に舞踊や軽体操の運動系サークルにおいて会員の減少傾向が見られたため、センターの広報紙等により募集活動の支援を行なっている。他方で、個人利用者が増加すれば、結果としてサークル活動参加者の増加、地域包括ケアシステムにおいて地域の情報収集や人材センターとしての役割を果たすことにつながると考えており、個人利用者の増加も重要であると捉えている。そのため、「気軽に立ち寄り、相談のできる場所」として認知度を上げることを目指して送迎サービスの継続や、新たにフリーwifiの利用を可能にするなど利用環境の改善に努めている。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成29年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。                      介護予防に関する取り組みの充実を掲げ、介護予防講座を毎月開催し、医師や管理栄養士の講話や軽運動を行うなど、利用者の健康増進に積極的に取り組んでいる。また、小鶴新田駅とセンター間の送迎を行うなど、利用者の利便性向上に取り組んでいる。                      フリーwifiの導入など先進的な取り組みにも意欲的であり、総合的に高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課